

人とモノの間に。



TANA-X CSR Report 2018

株式会社タナックス CSR報告書

Top Message



独自性を磨き、社会に新しい価値を提供し続けます。

明治40年（1907年）の創業から2018年で111周年を迎えました。企業の平均寿命が37年との調査結果がある時代に、111年事業を継続できたのは、お客様、社会、そして社員との間に育まれてきた信頼関係が土台となっています。

当社のビジネス展開としては、クライアントのご要望に応える受注産業に加え、今後はマーケットに認めていただける当社独自のソリューションや製品の開発に、より一層注力していきたいと考えています。

一例としては、現在、物流の現場では人手不足や運賃ならびに段ボール資材高騰等による物流コストの増加が深刻な問題となっており、こうした社会課題の解決策として、当社では異なる大きさの商品を自動計測し、ジャストサイズの段ボールを切り出し、製函から封函、荷札貼りまでを自動で行う全自動梱包機を自社開発しました。この製品「TXP-600」は、2018年9月に国際物流総合展に初出展し、テレビ東京系「WBS」

をはじめテレビや雑誌でも数多く取り上げられるなど、大きな反響を頂きました。

このようにタナックス独自の事業を通して、市場・社会に新しい価値を提供し続けたいと考えております。

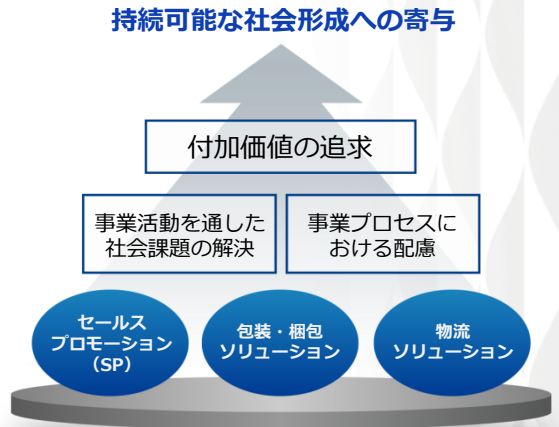
また2015年に発足した「TS（TANA-X Standard）プロジェクト」では、ISOによる環境・品質・情報セキュリティのマネジメントシステムをベースとした業務標準化と継続的改善を進めており、特に現場からの意見の吸い上げを重視し、社員自ら考え、積極的に改善に向けて動く社風づくりに取り組んでいます。

2019年からは第7次中期経営計画がスタートします。会社が成長し発展を続けるためには、チャレンジ精神を持続させていかなければなりません。全社員が創業当初や入社当時のエネルギーや情熱を抱いて、「ココロでつながる会社であり続けること」を目指し、新しい価値の創造に挑戦することで、引き続きさらなる成長と発展に向けて邁進してまいります。

タナックスのCSRの考え方

タナックスは、セールスプロモーション（SP）、包装・梱包ソリューション、物流ソリューションの各事業を通して、持続可能な社会形成への寄与を目指します。

- ステークホルダーの要請・期待に応える付加価値を追求することで、信頼に基づく相互発展の関係を構築します。
- 事業活動を通して社会課題の解決に向けた価値を提供します。
- 事業プロセスにおける環境・社会・品質への影響に配慮し、継続的改善に取り組みます。



SDGsへの貢献

2015年の国連サミットにて2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、持続可能な社会の実現に向けた17目標・169ターゲットへの貢献が社会的に求められています。

タナックスではSDGsの開発目標から5項目を重点的に推進し活動。お取引先様のCSR・SDGs活動の進展につなげてまいります。

■ タナックスのSDGs重点項目



SDGs (Sustainable Development Goals)
国連サミットで採択された、2030年に向けた「持続可能な開発目標」。目標・ターゲットには人権、健康、気候変動、森林保全などが含まれる。

CSRの重点テーマ		SDGsへの主な貢献	
事業を通じた社会課題の解決	セールスプロモーション (SP)		
	包装・梱包ソリューション		<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮品及び森林認証品の拡販 ● ちゃんとエコ ● FSC
	物流ソリューション		<ul style="list-style-type: none"> ● 物流現場における ● 人手不足解消 ● 物流コスト削減 ● 環境対策
事業プロセスにおける配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動への対応（CO₂排出量の削減） ● 環境負荷の低減 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質・コスト競争力の向上 ● CSRの考えに基づいた調達活動の推進 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 働きやすい職場環境づくり ● 組織・社風・人材育成強化 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス・リスクマネジメント ● ビジネス倫理の徹底 		

環境保全の取り組み

地球環境保全と地域社会への配慮は、経営における重要課題の1つです。

当社はCO₂排出量の抑制と持続可能な資源の利用に努め、環境経営を推進しています。

タナックス環境憲章

基本理念	株式会社タナックスは、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を果たすべく、地域社会との調和・共生をはかり、地球環境保全活動の推進と、資源の持続可能性確保に努めます。
基本方針	1. 省資源・省エネルギー・CO ₂ 排出削減の推進 2. 事業活動に関わる環境負荷の低減 3. 環境配慮品・森林認証品の拡販 4. 環境保全活動の公開と社内啓蒙

ちゃんとエコ認定ラベル制度

「ちゃんとエコ」とは、店頭販促物、産業資材、商業包装材にて、ライフサイクル全般における環境負荷低減に配慮した製品を「ちゃんとエコ」製品として認定する、タナックス独自の環境ラベル制度です。

2009年の運用開始以降、持続可能な社会のために今できることを可能な限り実践する精神のもと、お取引先様とともに環境負荷低減を実行しています。営業、企画、設計、製造、廃棄、リサイクル等での環境配慮を加点評価し、基準点をクリアした製品に「ちゃんとエコ」ラベルを付与。森林認証紙の利用推進、省資源化による環境負荷削減、環境コミュニケーションによる社会的な環境意識の向上などに貢献しています。



「ちゃんとエコ」ラベルは自己宣言型環境主張（タイプII環境ラベル）として、環境省の環境ラベル等データベースに掲載されています。

FSC® CoC認証

森林保全への貢献は企業としての社会的責任と捉え、「森林認証紙」の使用を推進。森林認証は適切に管理された森林から伐り出した木材を原材料に使用することで

「木を利用しながら森を守る」制度です。当社はFSC® CoC認証を2010年に取得し、認証製品の製造販売を行っています。



ISO14001（環境マネジメントシステム）

2001年から本社工場にて、ISO14001（環境マネジメントシステム）を導入し、各種環境取り組みの目標を策定し、パフォーマンス向上に努めています。

システム運用では、第三者機関による定期審査を受け、有効性確認と改善を実施しています。



タナックス本社工場

CDPへの取り組みとCO₂排出削減活動

CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)

CDPとは、グローバル企業や主要国企業に対し、気候変動対策、森林・水資源の保護に関する環境取り組みの公開を求め、評価付けを行う国際的プロジェクトです。企業評価にESG(環境・社会・企業統治)情報を活用する流れが強まる昨今、CDPは企業の持続可能性を示す指標の1つとなっています。

当社は2015年からCDPに参画。2018年もCDP質問書に回答し、前年の気候変動対策や森林保全活動の実績と、今後の戦略、リスクマネジメント結果を公開しました。

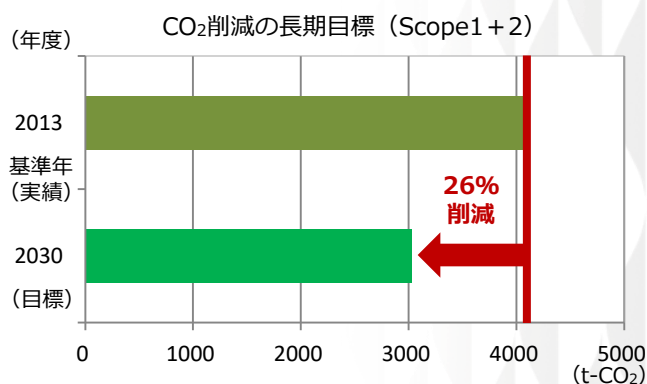


CDPに参画し、3分野の環境取り組み(2017年活動実績)を公開

2030年に向けたCO₂排出量削減の長期目標を策定

地球環境保全は企業にとっての重要課題の1つと認識し、当社はCO₂排出量の削減を進めています。その一環としてパリ協定での日本国内でのCO₂削減目標の水準に沿うように、当社は2030年までに「2013年比26%削減」を目指す長期目標を策定。2017年のCDP気候変動の回答から当社のCO₂排出削減目標として公開しています。

目標の達成に向けてより一層、省エネルギー化と生産性向上を努め、CO₂排出量削減を推進していきます。

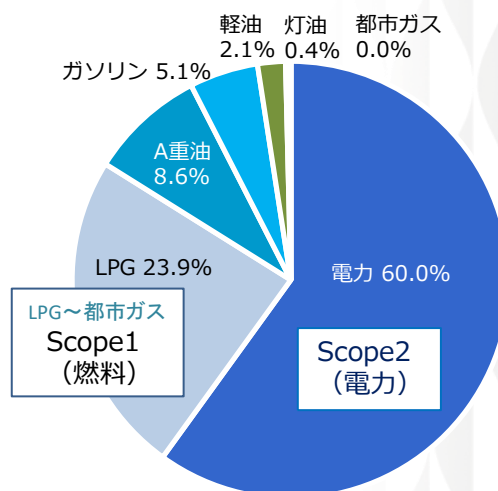


CO₂排出削減活動

2017年度のCO₂排出量は3,343t-CO₂となり、基準年の2013年比で18.4%削減しました。当社では省エネルギー化や設計・製造での省資源化などの取り組みに加え、CO₂削減を目的とした設備投資を推進しており、2017年のCO₂排出削減では高効率ボイラーへの入れ替えや各工場における新電力採用などの効果が表れています。

主なCO ₂ 削減活動		実施年
照明のLED化	本社工場	2015年
	本社	2017年
高効率ボイラーへの入れ替え	本社工場	2014年
	東京利根工場	2016年
	北海道工場	2017年
本社・各工場における新電力採用		2015年から順次
営業車削減とカーシェアリング導入		2015年
本社工場での電気自動車の導入		2016年

当社のエネルギー種別CO₂排出量 構成比 (2017年度)



2017年度のCO ₂ 排出量	3,343t-CO ₂
2013年比の削減率	18.4%削減

※CDP回答内容として2017年の活動実績を公開

お客様満足を目指して

「お客様にとってなくてはならない存在」であり続けるために、各種ISOをベースとした独自のマネジメントシステムを運用し、製品サービスの品質向上と継続的改善に取り組んでいます。

タナックス品質方針

株式会社タナックスは製品サービスの品質向上と、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、多様化するニーズに対応していくために、品質、環境及び情報マネジメントシステムを構築し、品質、環境及び情報の双方向による継続的活動の推進により、常にお客様満足度の向上を意識し取り組んでいきます。

1. ISO9001、ISO14001及びISO27001を基礎とした独自のマネジメントシステムを構築し、森林認証、ちゃんとエコを含めた環境保全活動、品質向上及び情報セキュリティを推進します。
2. 当社の活動、製品のライフサイクル及びサービスが関わる環境側面、お客様要求事項を認識し、品質、環境及び情報マネジメントシステムの継続的改善を通じて、企業の社会的責任を果たす高付加価値製品の提供を目指します。
3. CSR調達方針に基づき、当社の活動に関する法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 技術的、経済的に可能な範囲で品質、環境及び情報の目的、目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を行います。
5. CDPの、企業に対して気候変動への戦略や具体的な温室効果ガスの排出量に関する公表を求める理念に同意し、CO₂排出量の削減についても取り組みます。

改訂：2019年4月1日

品質管理体制

当社は各種ISOを基礎とした品質管理システムを構築し、品質管理規程を含む社内ルールに基づいた運用を行うことで、安定した品質レベルの確保に努めています。具体的活動として、品質管理部門にて生産プロセス管理の徹底と品質の作り込みを実施。また、Webカメラやスマートフォンを活用した映像コミュニケーションシステムにより、製造現場の工程・品質確認、作業指示を遠隔地からリアルタイムに行える体制を構築。これらにより、ヒューマンエラーの防止と不適合品流出の未然防止を図り、生産現場力の強化を図っています。

お取引先様にも当社の品質ガイドラインの運用と、監査評価へのご協力をお願いし、お取引先様と連携して製造品の品質向上に取り組んでいます。

ISO9001（品質マネジメントシステム）

2013年に本社工場でISO9001認証を取得。この取り組みを基に、2015年に全工場、2016年に本社、支店、営業所を含め、全社で認証取得しました。品質マネジメントシステムの有効性を高め、製品サービスの品質向上につなげるために、運用・活動を通して課題を抽出し、継続的改善と教育の徹底に取り組んでいます。



タナックス本社・
全支店・全営業所・全工場

各種マネジメントシステムを基礎とした 全社員参画による品質管理体制



ISO12647-2（カラーマネジメントシステム）

当社は、印刷部門においてオフセット印刷の標準化（PSO）を規定した「ISO12647-2」の認証を取得しています。この認証取得により、オフセット印刷で安定したカラー印刷の提供ができる体制を構築し、印刷物の品質及び色の再現性が高水準にあることを証明しています。



協力会社様とともに

コンプライアンス、人権の尊重、地球環境保全など、当社のCSRの考えに基づいた調達活動を通して、当社とお取引先様との長期的な相互の信頼関係を構築し、共存共栄の関係を目指します。

タナックスCSR調達方針

1. お取引先様との共存共栄

当社は、事業活動を行うために必要な物品、サービス等を様々なお取引先様より調達し、付加価値を加え、当社の製造品、サービスとして提供を行っています。

この中において、当社とお取引先様とは、相互に長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてお互いが自己の持つ力の向上を図り、ともに繁栄、存続してゆく、共存共栄の関係を目指します。

2. 公平な機会の提供

お取引先様の選定については、企業としての信頼性、技術力、調達品の品質、価格、納期、企業の社会的責任への取り組み状況等の項目による総合的な評価を行い、国内、国外、経営規模の大小を問わないものとし、新規希望者に対し、常に公平、公正な機会を与え、真摯に対応するように努めるものとします。

3. CSRに配慮した調達活動の推進

当社は、「CSR調達指針」に基づき、法令遵守、人権の尊重、労働安全衛生、製品、サービスの品質、安全性の維持、確保、情報セキュリティの維持、推進、公正取引、企業倫理、事業継続のための危機管理体制の構築、社会貢献等、CSRに配慮した調達活動をお取引先様とともに推進します。

4. タナックス「CSR調達指針」

当社は、CSRに配慮した調達活動を積極的に推進するため、「CSR調達指針」を作成し、自ら遵守するとともに、お取引先様に対しても、この指針の遵守を求めます。

森林認証紙・古紙の調達

お取引先様の環境配慮のご要望にお応えし、「持続可能な紙の利用」を推進するため、紙・板紙・段ボール原紙の供給元との強固なネットワークを構築し、森林認証紙や古紙の安定的な調達に努めています。

また、当社独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」において製品に対する環境配慮を加点評価する上で、古紙の利用を推奨し、製品における古紙含有率を高める活動を進めています。こうした活動を通して、当社の理念である「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を目指し、森林保全と資源の循環利用に取り組んでいます。

化学物質の安全性確認

製造時において化学物質によるばく露から作業者を守るために、化学物質管理に関するルールを定め、取扱物質や作業内容についてリスクアセスメント評価結果に基づいた適切な作業環境を整備。取り扱う化学物質および規制対象物質のリスクアセスメント実施手順を定め、保護具の選定・使用徹底を図ることで、化学物質による健康被害予防と労働災害リスク低減に努めています。また、取り扱う化学物質についてSDS（安全データシート）を取得し、自社の製造現場および社外製造委託先様などの安全確保を図っています。

働きやすい職場環境づくり

一人一人の社員が安心・安全に、かつ目標とやりがいを持って働ける職場づくりを実現するために、人権の尊重、健康配慮、社員の成長と能力開発に関する取り組みを実施しています。

残業削減・有給休暇取得活動

長時間労働の防止と生産性向上を促すために、残業削減活動として、勤怠管理システムを運用。勤務状況を把握・分析して、社員の健康維持や、業務・体制の見直しなどに活用しています。メンタルケア・カウンセリングサービスやストレスチェックの実施にも取り組んでいます。

また年次有給休暇取得を推進し、取得率80%以上達成・維持を目標にしています。具体的な取り組みとして、2015年から取得促進（強化）期間を設定、2018年度に年間取得目標日数を設定。この結果、2014年度取得率47.89%から2018年度取得率77.14%に向上しました。

従業員意識調査

健康的な組織・職場をつくることを目的として、従業員一人一人の意識や行動についての社内調査を2018年に実施しました。社員のモチベーションや各部門の業務などの現状分析から重要課題を抽出し、従業員の声を経営に反映することで、職場・チームの改善や組織の活性化、従業員満足度の向上に取り組んでいます。

多様な人材活用

基本的人権と個性の尊重を基本として、従業員一人一人がやりがいを持って働ける職場環境を実現するために、女性の活躍推進、高齢者雇用、障がい者雇用を促進しています。特にライフステージに合わせた多様な働き方ができるよう、育児・介護休業制度や、定年退職後の再雇用制度を導入し、人材の有効活用を目指し、取り組みを推進しています。

福利厚生 の 充実

従業員のライフサポートの充実のために福利厚生サービス「Benefit Station（ベネフィット・ステーション）」を導入しました。社員間の交流促進、プライベートの充実、育児・介護支援、自己啓発サポートなど、従業員の意欲・能力を発揮するためのツールとして活用しています。



旅行

生活

健康

育児

介護

学ぶ

人材開発・社員教育

社員の能力開発と力量向上に積極的に取り組んでおり、スキルレベルに応じた様々な教育を実施しています。また、業務に直結する資格として「包装管理士」「プロモーションルマーケター」等の取得を奨励しています。

【経営ビジョン浸透策】

組織・社風・人材育成強化を目的に、全拠点で経営ビジョン説明会を実施。企業理念・目的・方針を社員自らが理解し、同じベクトルに向けて業務を進める活動を推進しています。

【全社横断型の教育プログラム】

社員の成長と業務標準化のために、各種ISO・CSR・ビジネス倫理などの教育を全部門を対象に実施しています。



コンプライアンス・リスクマネジメント

法令遵守の徹底と企業倫理・社会的責任の意識浸透に取り組み、誠実な企業活動に努めることで、お客様をはじめ、ステークホルダーの皆様から安心・満足・信頼をいただける企業を目指します。

コンプライアンス推進体制

当社は、コンプライアンス活動を含めた全社的なリスク対策や業務・労務改善を推進するために、メンバーを選出して「TSプロジェクト事務局」を設置しています。



事業継続計画（BCP）の拡充

緊急時における従業員および、その家族の安全確保と、事業の継続運営を適切に行うことを目的として、事業継続計画の拡充を進めています。方針・対応手順を制定し、大地震や新型感染症の発生などの緊急時に、全社の対応に関する重要な意思決定を迅速に行うために危機管理体制の整備を推進。また、平常時から定期的に従業員に教育訓練を実施し、BCP対応を社内に根付かせる活動に努めています。

内部通報制度

会社の法令遵守を推進するため、通常の社内報告ルートとは別に、従業員からのコンプライアンスに関する電話・メールでの通報・相談窓口として「タナックスホットライン」を設置しています。これにより、組織的または個人による不正・違反・反倫理的行為を未然に防ぐとともに、会社として速やかに事実確認と調査を行い、是正を図れる体制を構築しています。運用に際しては通報者の秘密の保護を厳守し、適正な対応を実施しています。

ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

情報資産の管理について、安全かつ確実な保護のもとで適切に共有・活用することが企業にとっての重要な課題と認識し、2016年にISO27001認証を取得しました。

当社では情報セキュリティ方針を制定し、お客様情報および個人情報の保護を継続的に実施しています。



タナックス本社システム管理室・東京支店・大阪支店・本社工場

Sedexでの倫理情報の公開と遵法性確認

(Sedex : サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)

Sedexは世界規模でサプライチェーンを構築する大手企業で取引先・仕入先の管理に活用される情報共有プラットフォームです。

当社は、サプライヤーとしての倫理的かつ責任ある事業慣行の証明を目的としてSedexに登録（本社工場）し、労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理を対象とした当社の企業取り組みをSedexで公開しています。また公開情報をもとに第三者機関の審査を受け、その信頼性および遵法性を証明しています。



■ Sedexでの公開情報

項目	公開情報の概要
労働	労働時間、人権、賃金、懲罰と苦情処理メカニズム 等
安全衛生	有害物質の管理、労働者の健康、安全衛生マネジメント 等
環境	環境システム、温室効果ガスを含む大気への放出、エネルギー、水、原材料、汚染の予防 等
ビジネス倫理	腐敗防止、管理システム 等

文化・スポーツ振興

社員間のコミュニケーションの場を作ることは、モチベーションの向上につながります。
タナックスでは社内イベントや、文化・スポーツ振興活動を社員の交流の場として役立てています。

日本伝統文化の振興

当社は、豊かな社会と日本伝統文化を守ることを目的として一般財団法人京都国際文化振興財団に協賛しており、2018年に京都市勧業館みやこめっせで開催された「第38回日本盆栽大観展」にも協賛いたしました。

盆栽は日本が誇る伝統芸術として国内のみならず海外からも注目を集めており、今後も企業として文化振興に貢献していきます。



(左)日本盆栽協会理事長 青蔭文雄氏 (右)タナックス会長 田中慶治



宮様楓 (石付) 樹高82cm



黒松 銘「太閤」 樹高78cm



地域・スポーツ振興

【GAINER メインスポンサー】

夢と感動を与えてくれるスポーツの発展は、人や社会の発展にもつながります。

当社はモータースポーツにおいても、SUPER GT300に参戦するカーレーシングチーム「GAINER」のメインスポンサーを務めています。レーシングカーの仕様にはクライアントの主要製品を活用させていただくことで、当社とお取引先様との関係強化につながっています。



<http://www.gainer.asia>

【京都ハンナリーズ トップスポンサー】

スポーツを通じた地域社会の発展貢献の思いから、京都を本拠地としてプロバスケットボールのB.LEAGUEに参戦する「京都ハンナリーズ」をトップスポンサーとしてサポートしており、社員も応援に駆け付けています。



©KyotoHannaryz/B.League

会社概要

商号	株式会社 TANA-X (株式会社タナックス)
会社代表者	代表取締役社長 田中 一平
本社所在地	〒600-8105 京都府京都市下京区五条通烏丸東入松屋町438番地 (タナックスビル)
設立	1951年 (昭和26年) 3月23日
資本金	3億6,400万円
決算期	12月
従業員	520名 (2018年12月31日時点)
事業内容	1. 各種デザイン、商品企画、美術印刷及び紙加工 2. 一般包装資材及び梱包機器の製造販売 3. 陳列用具、販促用品、宣伝用品の製造販売 4. 産業用機器及び産業用ロボット等の製造販売、レンタル及び保守管理 5. イベント、セールスプロモーションの企画、製作及び運営 6. 室内装飾品、日用雑貨類、衣料品その他各種物品の卸売及び小売業 7. 医薬品、医薬部外品の販売 8. 食料品、飲料品、酒類、健康食品の販売 9. その他

編集方針

このCSR Report を通して、株式会社タナックスの「社会」「環境」を中心としたCSR活動を開示することによって、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めることを目的として編集しております。

「環境保全の取り組み」ページのCO₂排出量は、株式会社タナックスと得納克司(香港)貿易有限公司の2017年度CO₂排出量の合計値を報告しています。

- 報告対象：株式会社タナックス (一部関連会社の情報も含みます)
- 対象期間：原則として2018年度の活動を対象期間としていますが、一部2017年以前の情報も含まれています。
- 発行時期：2019年6月
- 問い合わせ先

株式会社タナックス
連絡先 : TEL : 075-361-2000 (代) FAX : 075-343-1790
URL : <http://tana-x.co.jp/>

人とモノの間に。

TANX[®]

<http://tana-x.co.jp>

